

トークシェアミーティング

小名浜地区の未来を「わたし」目線で考える

「わたし」らしく暮らし続けるための 小名浜へ！

同一回・日程違いのトークテーマは同じ!
好きな回だけを選んで参加OK!

第1回
「わたし」が
小名浜で
やりたいこと
[開催済]
11/8(金)・9(土)

2025年
① 1/31(金) 10:20~12:50
② 1/31(金) 18:20~20:50
③ 2/1(土) 9:30~12:00

第3回
よったとき
・困ったとき
誰と関わると
良いか

2025年
① 3/14(金) 10:20~12:50
② 3/14(金) 18:20~20:50
③ 3/15(土) 9:30~12:00

第4回
どこなら より
「わたし」らしく
やりたいことを
やれるか

会場
① いわき・ら・ら・ミュウ 2階 研修室A (いわき市小名浜字辰巳町43-1)
② イオンモールいわき小名浜4階 イオンホールA (いわき市小名浜字辰巳町79)
③ 小名浜公民館2階 会議室 (いわき市小名浜愛宕上7-2)

参加方法
右下のQRコードから事前申込
※各日の7日前までにお申込みください

定員
各日程30名程度
※先着順

対象
小名浜に関わりがある・関わりたい
小学生以上の方

参加費
無料

「わたし」と「わたし」が重なり合うまちへ

やりたいことを「やってみたい」と言葉にする。
ただ、それだけのことなのに、とても難しい。
笑われたらどうしよう? 否定されたら? 馬鹿にされたら?
傷つくくらいなら、伝えなくてもいいか。
そう、思ってしまう。

でも、もしも。
お互いの言葉を、ただまっすぐに聴き合える。
一緒にやろうよ、考え方よ、と言いかえる。
そんなフラットな場があったなら。
小名浜は、もっと住み続けたい、もっと関わり続けたい、そんなまちになれるはずだ。

きっと、「わたし」の「やってみたい」は
別の「わたし」の「やってみたい」とどこかで重なって、
その先で、「わたしたち」がもっと自分らしく暮らせるまちをかたちづくっていくと思う。

トークシェアミーティングは、そんな可能性に満ちた場所。
一人ひとりの「わたし」には、何の書きもなくても、
言葉には、想いには、行動には、今を変える確かな力がある。

その最初の一歩を、小名浜から、一緒に踏み出しますか?

【お問い合わせ】

いわき市 財政部 施設マネジメント課
総合政策部 政策企画課

電話 0246-22-7408 電子メール shisetsu-management@city.iwaki.lg.jp

トークシェア
ミーティングの
参加申込はこち
ら



小名浜トーキングシェアミーティング

第1回
レポート

いわき・ら・ら・ミュウ 2階 研修室A

開催日

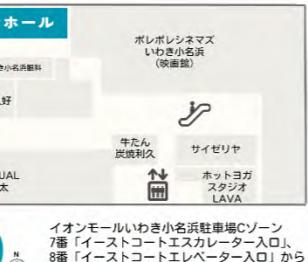
第2回～第4回 ①10:20～12:50



イオンモールいわき小名浜 4階 イオンホールA

開催日

第2回～第4回 ②18:20～20:50



小名浜公民館 2階 会議室

いわき市小名浜愛宕上7-2

開催日

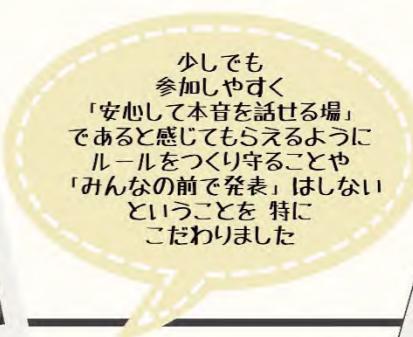
第2回～第4回
③9:30～12:00



入口を入って左手奥の階段又は
左手のエレベーターをご利用ください。



小名浜の関わりや日常の暮らしから
「わたし」のやりたいことや
ありたい姿を考え→伝え合います



少しでも
参加しやすく
「安心して本音を話せる場」
であると感じてもらえるように
ルールをつくり守ることや
「みんなの前で発表」はしない
ということを特に
こだわりました



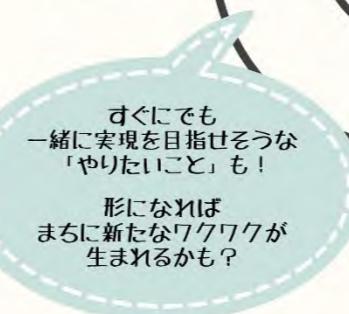
グループを移動して
新たな視点や考え方に出会います



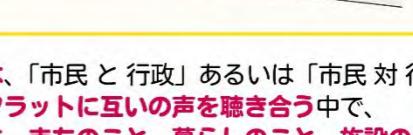
年代も性別も背景も
ごちゃまぜな場
だからこそ
経験や想いを伝え合い
世界が広がります



「わたし」が小名浜で
やりたいこと。こうありたいと
思うことを1つ選びます



すぐにでも
一緒に実現を目指せそうな
「やりたいこと」も!
形になれば
まさに新たなワクワクが
生まれるかも?



「わたし」もそう思う!という
共感を示し合い 次回のトーカー
や具現化のきっかけにしていきます



ファシリテーター
東京都立大学
讀岐 亮 先生

5・6ページには
参加者全員の
「やりたいこと」を掲載

「トークシェアミーティング」は、「市民と行政」あるいは「市民対行政」といった立場や身分の隔てを取り払い、フラットに互いの声を聞き合う中で、市民も行政もなく誰もが主体的に、まちのこと、暮らしのこと、施設のことなどを、共に考え・実現を目指す、という、全国的にも非常に珍しい取り組みです。

「トークシェアミーティング」に、あらかじめ設定されたゴールはありません。
目標する方向は、市民の皆さん一人ひとりの「こうしたい」「こうありたい」という想いを重ね合わせながら、対話の中でかたちづくっていくものだからです。

意欲的な試みだからこそ、体験してみないとピンとこないかもしれません。
このことから、この「トークシェアミーティング」が安心して本音を伝えられる場であることをまずは感じていただきたい、そして互いに「顔見知りの関係」になることを第1回では目指しました。第1回は、事実上の「第ゼロ回」です。

第2回から、あるいは気になるトークテーマの回だけ参加、大歓迎です。
堅苦しい雰囲気は一切ありませんし、話したくなったら話す、これで大丈夫。

第1回では話し足りなかった!という方も、ぜひご家族・ご友人・同僚の方と一緒に第2回へお越しください。また新しいトークテーマでお話ししましょう!

様々な経験や想いを「シェア」し合ってこそその「トークシェアミーティング」です。
たくさんの方の御参加を、お待ちしています。

トークテーマ:「わたし」が小名浜でやりたいこと

【開催日】令和6(2024)年11月8日(金)・9日(土)

【会場】小名浜公民館・鹿島公民館

【参加者】延42人



詳細なレポートは
市ホームページから
ご覧ください

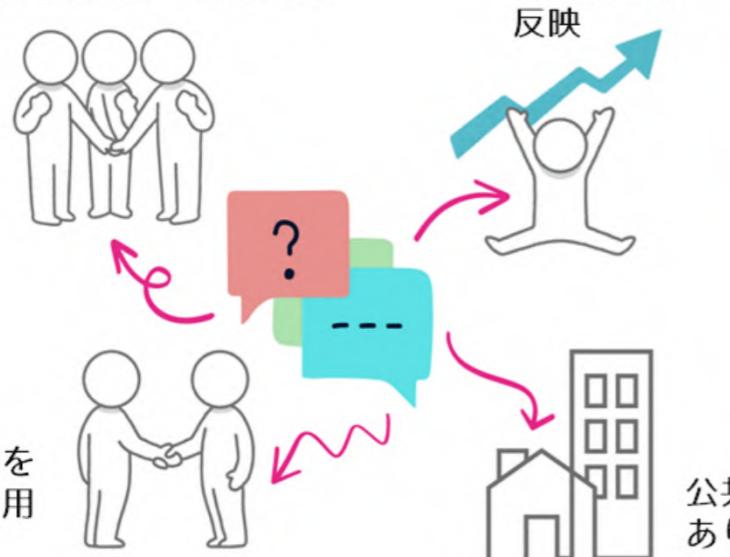


「聴いて終わり」じゃない！

- プレーヤーが自ら動き出すきっかけ
- 必要に応じ仲介・伴走支援・連携
- いわき市の施策やまちづくりに反映

…などにつながる可能性あり！

トークシェアミーティングを
通じて見つけた仲間と一緒に実現



出口は
1つではありません

固定観念を超えて
目指す姿を
対話する中で
共に
見出していきます

公共施設等の
あり方に反映

民間活力を
活用

トークシェアミーティングは 一人ひとりの「わたし」の 経験や考えについて聞き合うことを起点に まちの未来をかたちづくっていく試みです

何かを決める段階ではなく
何を考えなくてはならないかを見出す段階で
「わたし」がやりたいことベースの
声を聞き合います

よくある
「説明会」
ではありません

よくある
「議論会」
ではありません

何かを決める場
ではありません

何かを議論する場
ではありません

市が案を提示して意見をお聴きする
スタイルではなく、ゼロベースで声
を聴き合いたいと考えています。

白か黒か、あちらかこちらかなどの
何かしらの結論をトークシェアミー
ティングの中で出すことはありません。

市職員も「市職員という職業である
一市民」の立場で参加しています。

個人で or 仲間と
実現を目指す？



小名浜をテーマにした絵本の制作



小名浜のコト・モノ情報発信 など

連携先をみつけて
実現を目指す？



「福祉ネイル」の可能性



「電子レンジ料理教室」の開催 など

参加者意見を
関係部署に伝達・共有



何かを「やってみたい」想いのある
市民同士が出会い・交流できる機会が求められている



公共交通や多様な交通手段に対する様々な考え方・想い



言語ごとのコミュニティや参加しやすい国際交流の場が欲しい
など

2025年1月31日(金)
・2月1日(土)開催

次回の
トークシェア
ミーティング

トークテーマ「やりたいことをやるときに よかったこと・困ったこと」

「わたし」の「やりたいこと」や「ありたい姿」を思い浮かべながら、小名浜のいいところも残念に
感じるところも、ざっくばらんに言葉にして、まちにどんな「しきみ」や「フォロー」や「場」があつ
たら、「やりたいこと」がやれるか、「ありたい姿」で暮らせるか、考えます。

「トークシェアミーティング」に難しい説明や作業はありません。ご家族やお友達、同僚・知人の方
と一緒に、「わたし」を感じることを、気軽にシェアしに来てみませんか？

参加申込はこちら



耳を澄ませて 互いの話を 聞き合う

「わたし」の言葉と同じだけの重さが相手の言葉にもあります。誰か1人がずっと話し続けるのではなく、聞き合いましょう。

決めつけない

先入観や印象で、相手を「こうだ」と決めつけるのではなく、まずは、「なぜそう思うの?」と理由を訊ねてみましょう。

同意を 求めない

同意を求めるることは、時に相手の想いや考えを押さえつけてしまうことも。ここは何かを決めた場ではないので控えましょう。

トークシェアミーティングのルール

話したいときに 話したいことを 話す

言葉にしたいことは、人によってさまざま。発言は強制されるものではありません。話したくなったら、話せば良いのです。

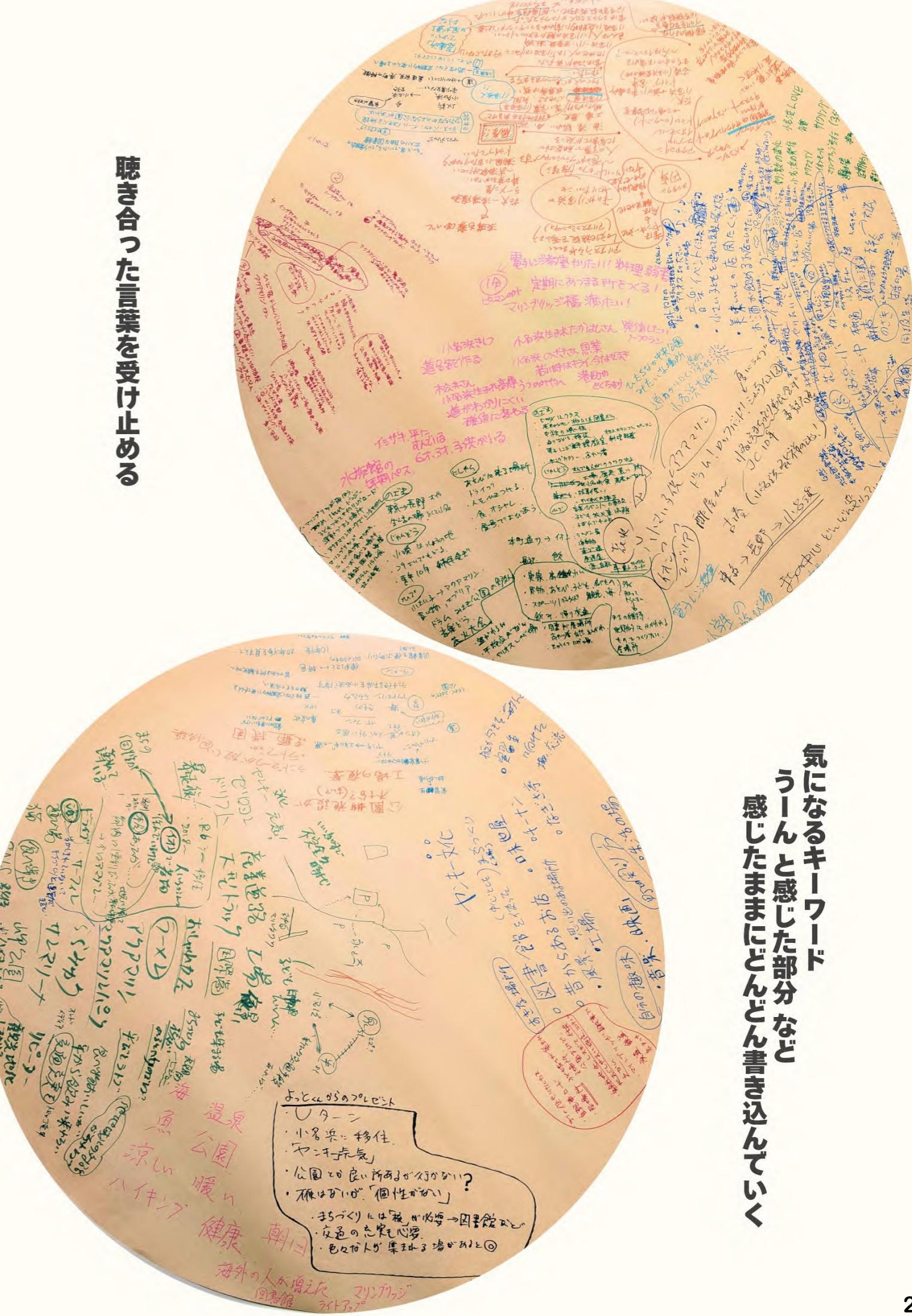
説教しない

特に大人の皆さん。知識や経験から「そうじゃない」と言いがちですが、この場ではまっすぐ受け止めるのが「大人」です。

質問攻めに しない

なんとなく思ったことをしつこく追及されても困ってしまうかも。質問は、相手を不快にさせない程度に、ほどほどに。

聞き合った言葉を受け止める



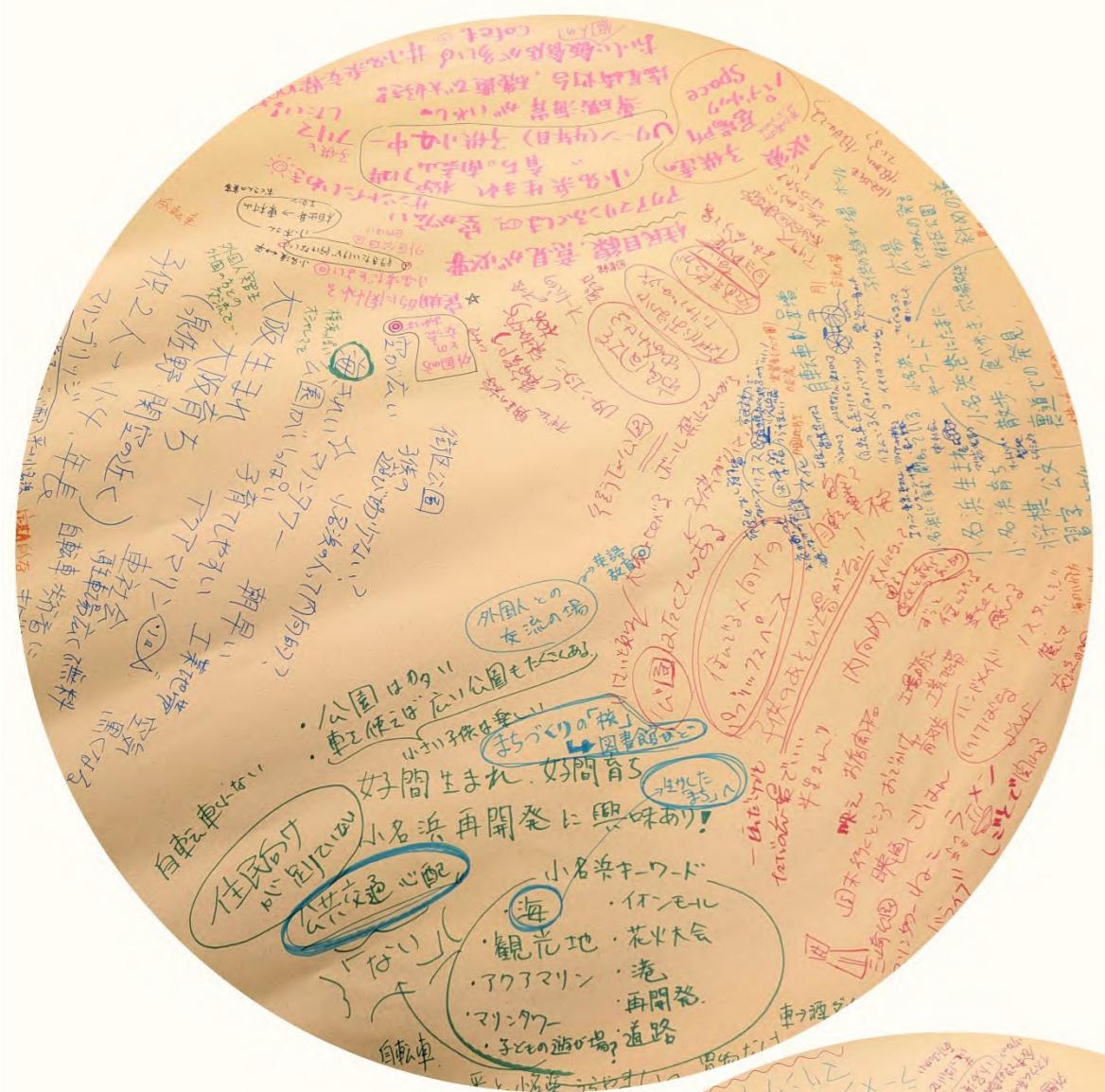
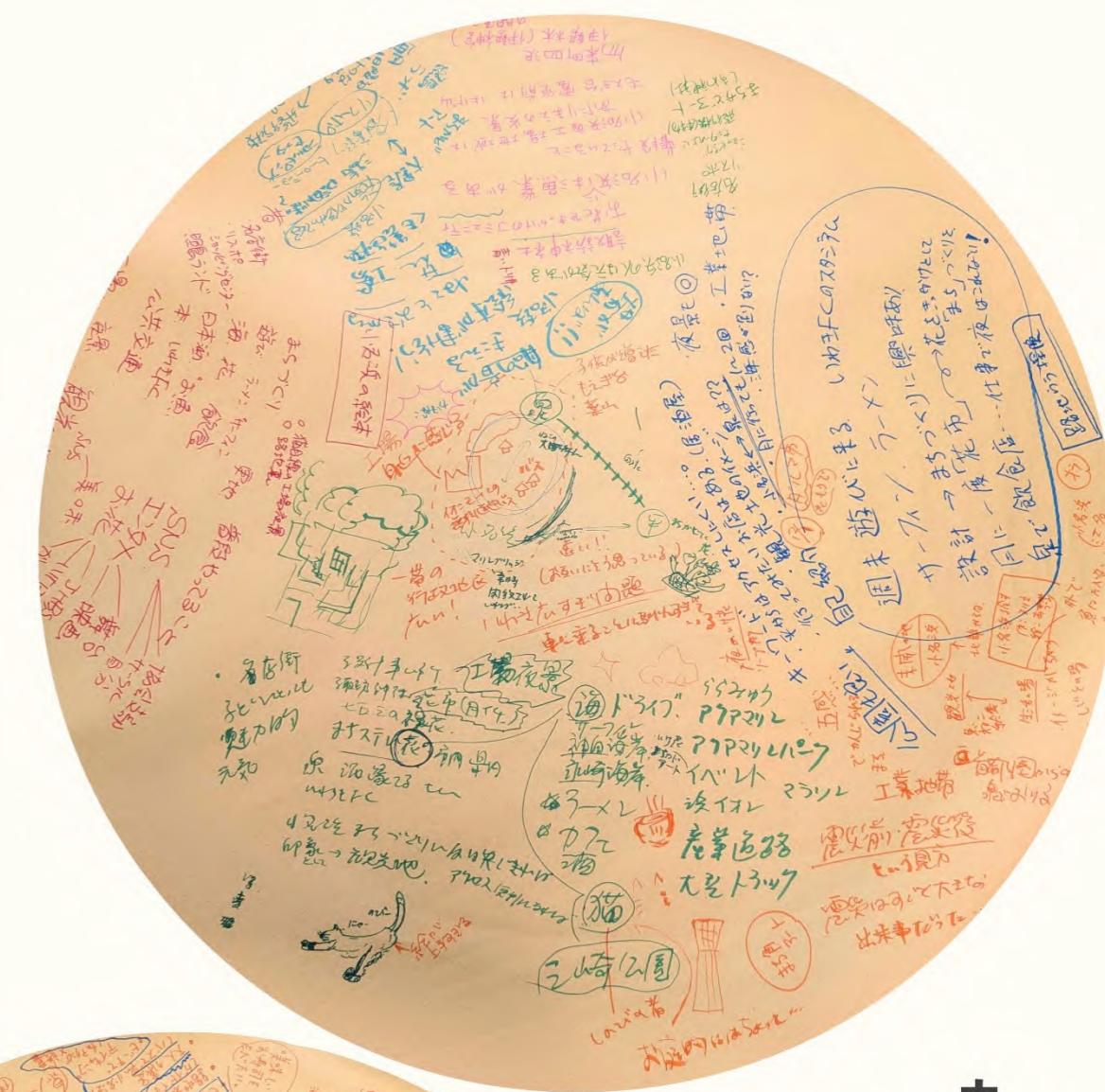
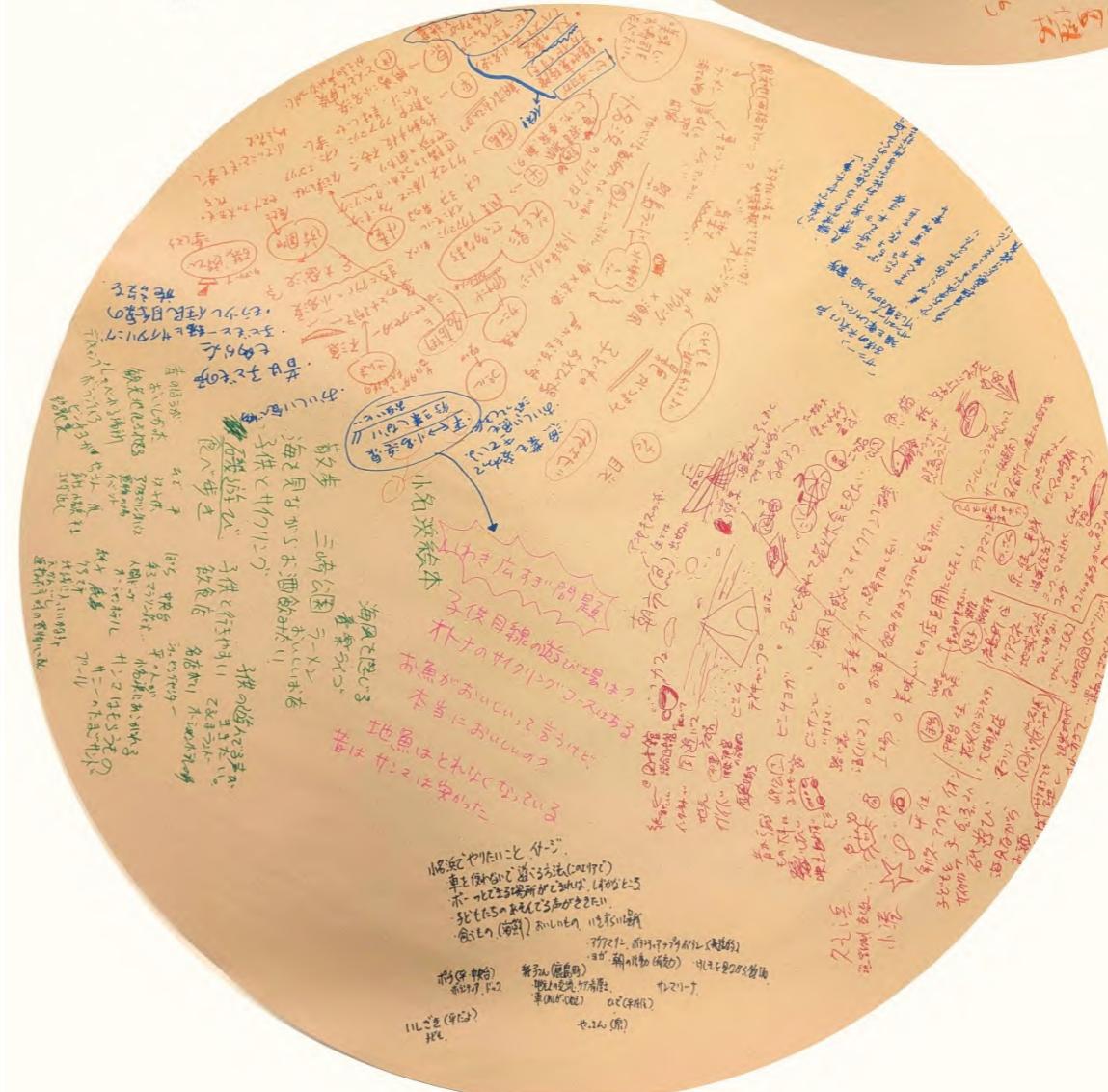
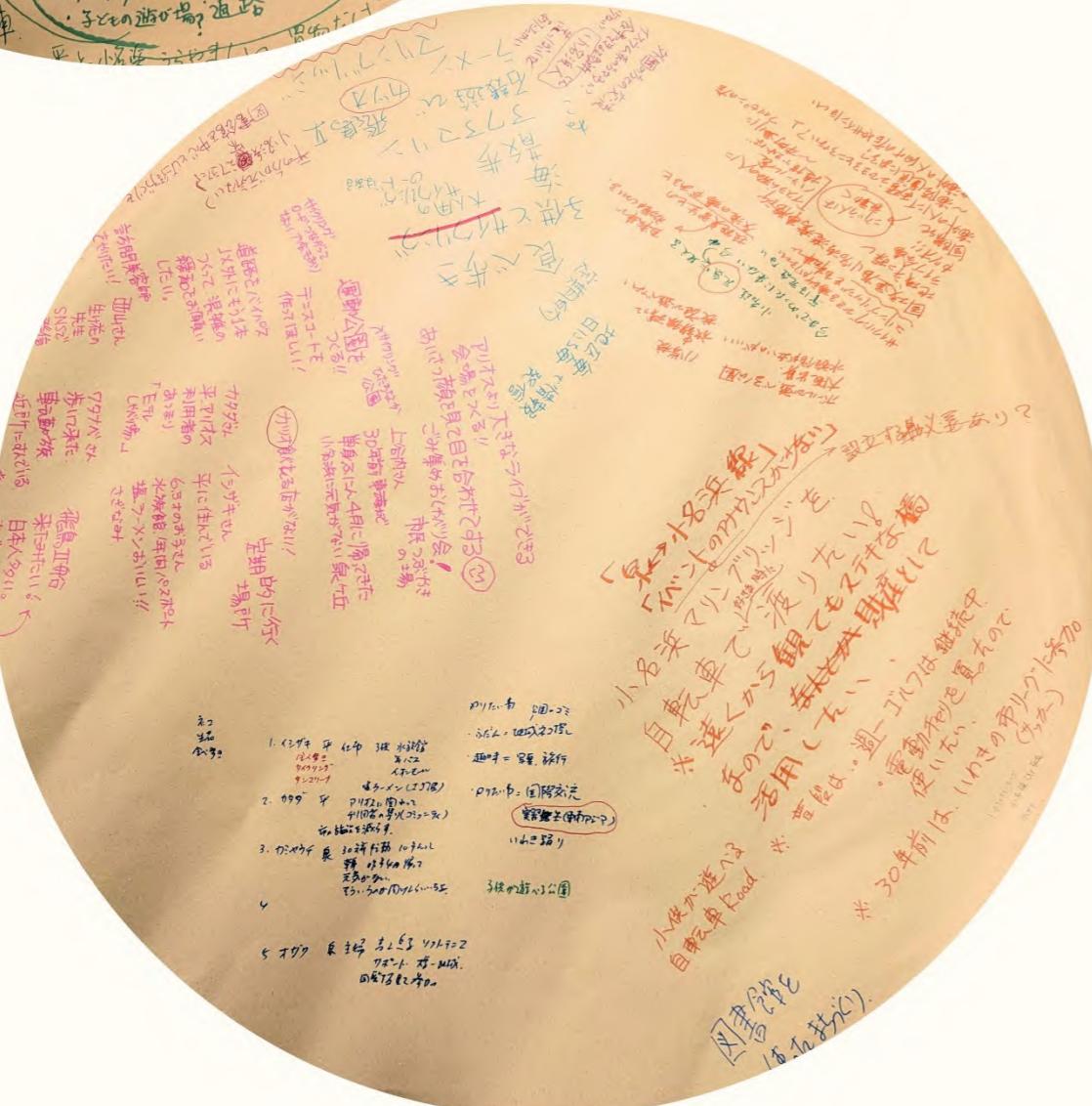
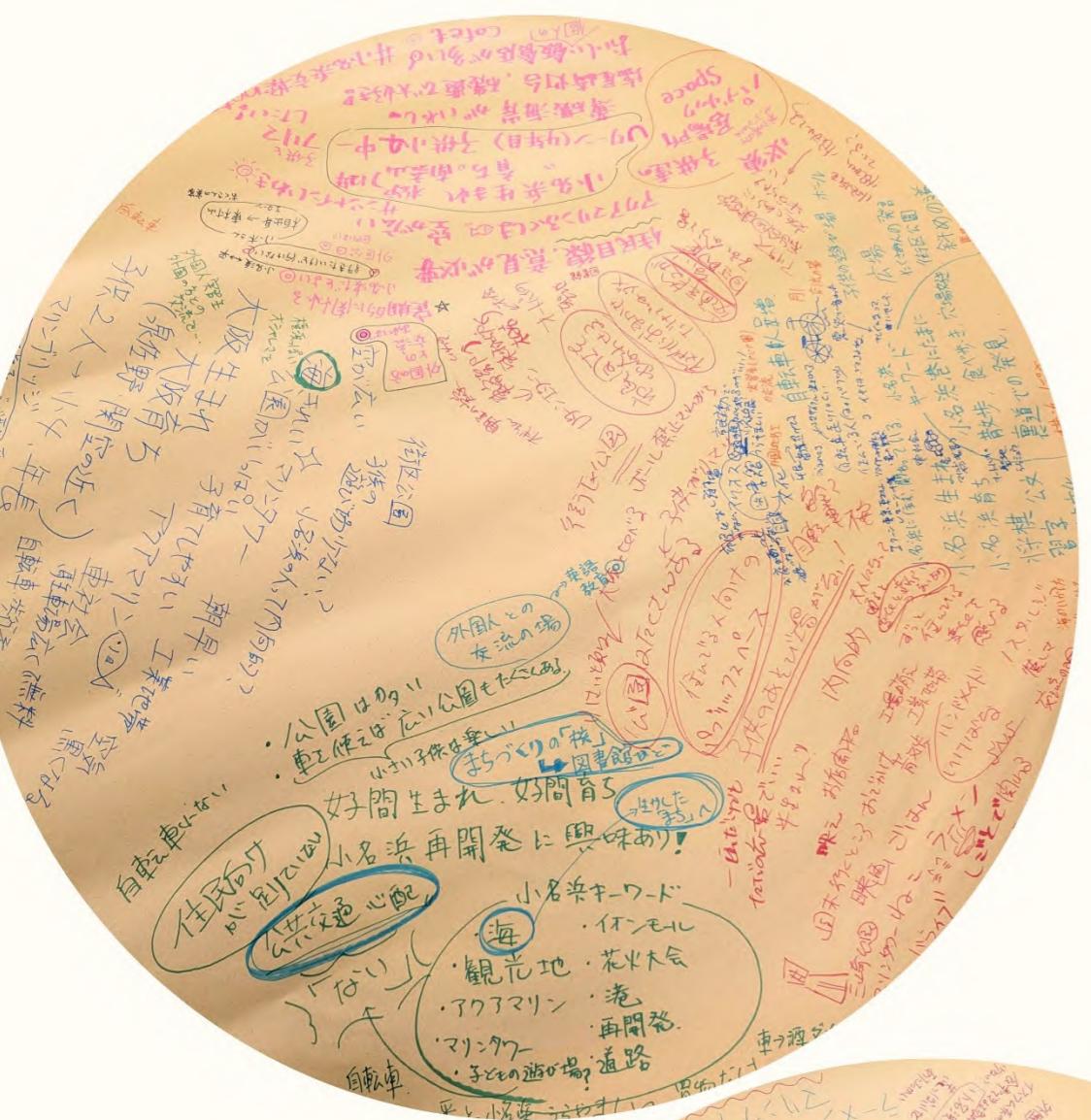
うーんと感じた部分など
感じたままにじんじん書き込んでいくべ

大切なのは
「誰か」がこいつしてくれたらしいのにはなく
「わたし」自身の「こつしたい」という想い
そしてそれを実現するために踏み出す一歩

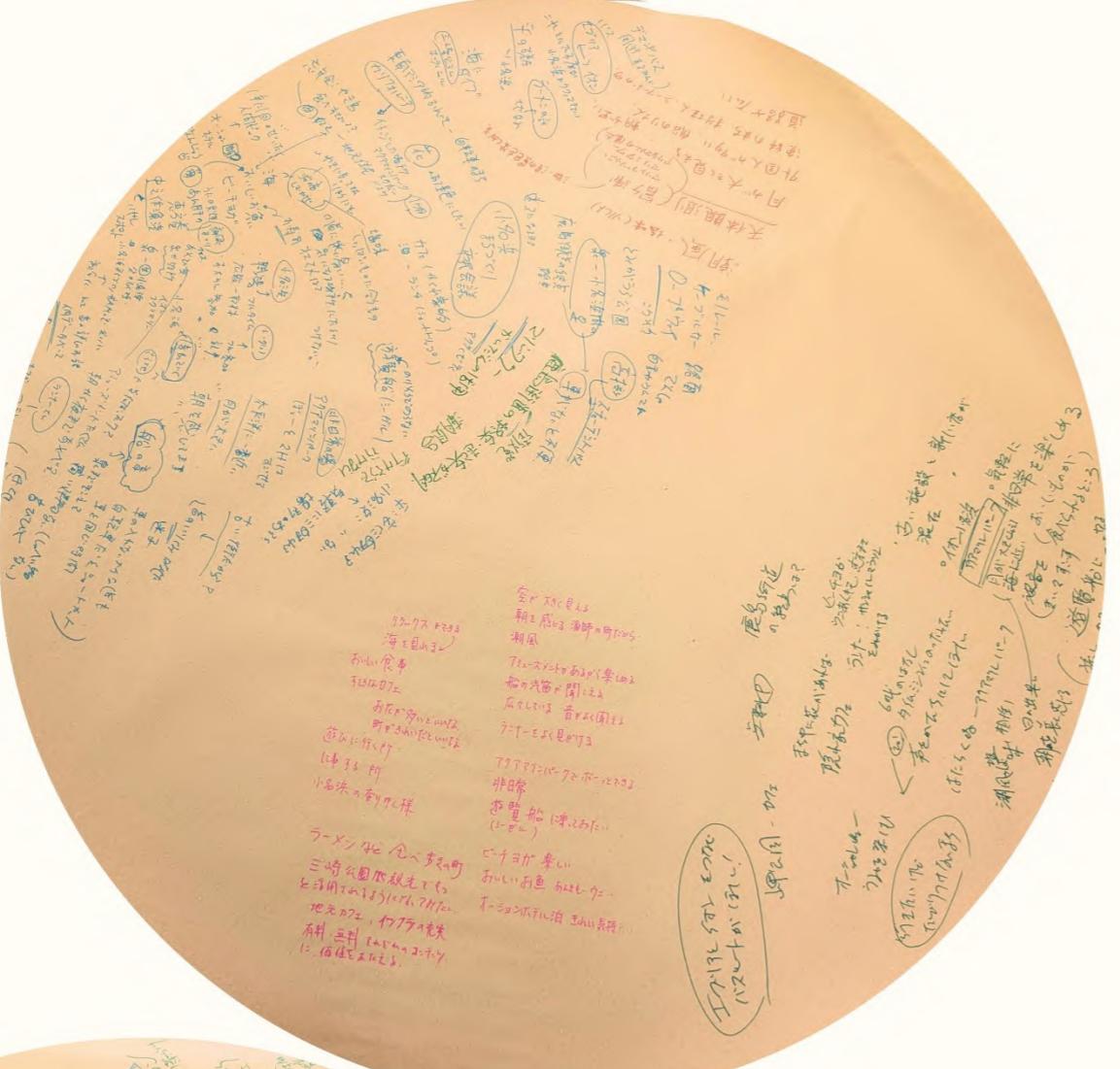
「わたし」と「わたしたち」らしいまちをかたちづくる

「わたし」の小名浜との関わりを
グループ内でシェアする」とアイスブレイク

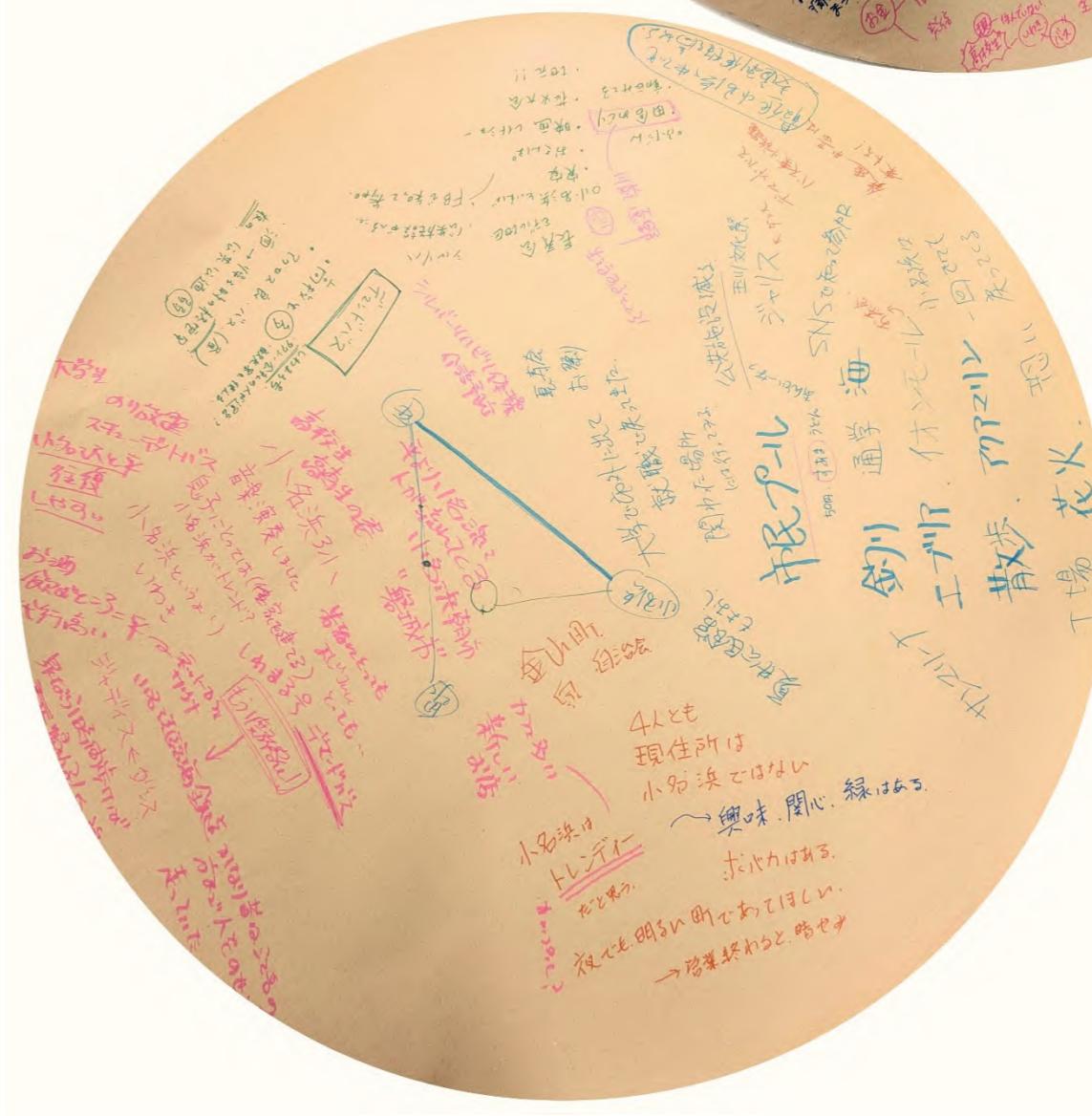
…なぜ小名浜に住んでいるのか
…って意外と改まって聞いたいたけどないかも



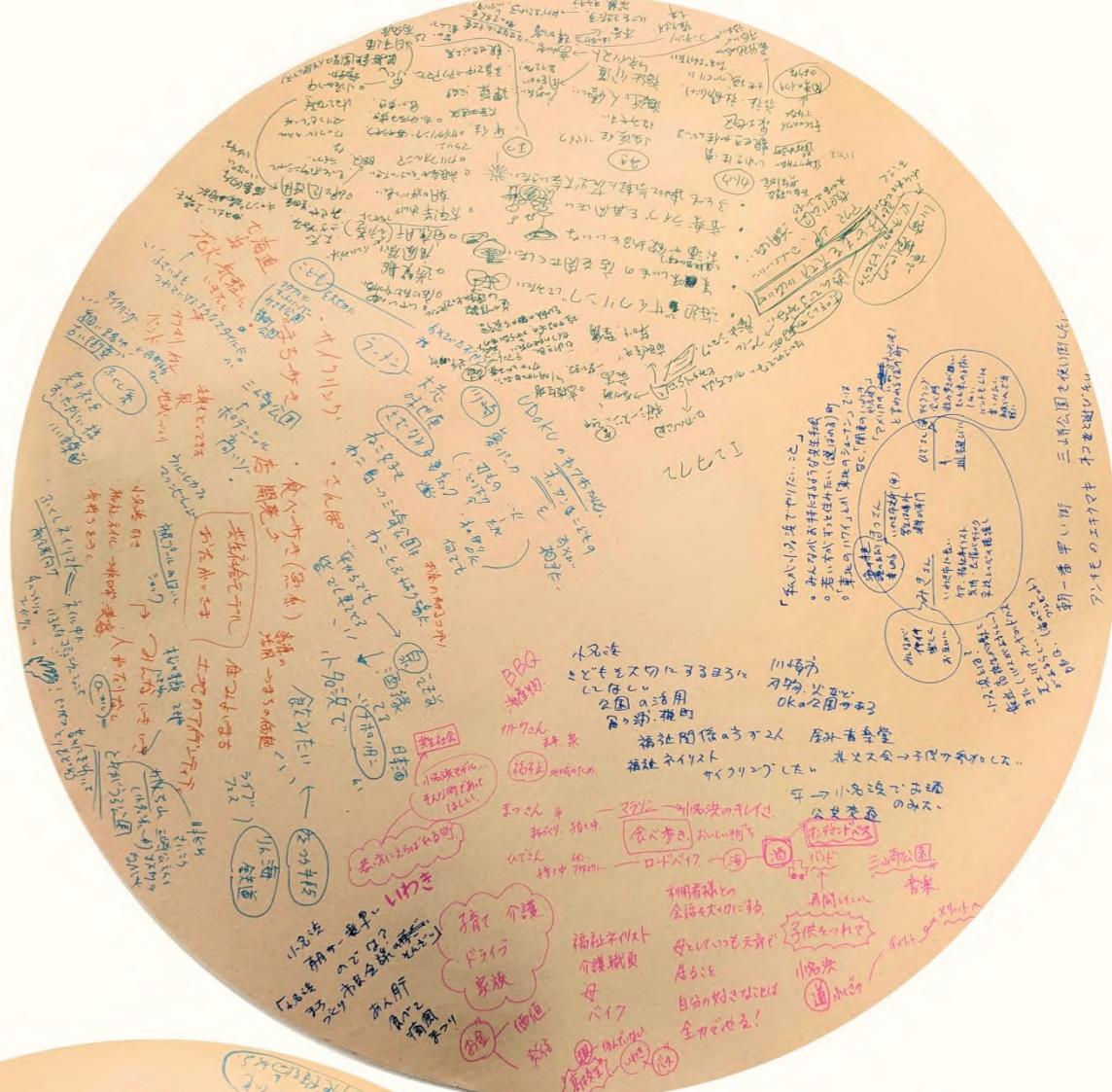
「」にいた「わたし」一人ひとりの心に
どんな言葉や経験が響いたのか
記された文字が教えてくれる



「わたし」だけでは思い至らなかつた
視点の世界を占めてゐるまゝか二



好きな色のペンで
互いの言葉と文字をつなぎ合つたり
たまには絵や図を描き込んでみたり



**言葉を交わす度
「わたし」の想いや経験が
「わたしたち」の重なりとして見えてくる**

